事務事業評価シート　令和　2　年度事後評価・決算

令和　4　年　2　月　10　日時点

所管課	農水産課	担当班	畜産班

事務事業名	コード	24200	さわやか畜産総合展開事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	6	1	4

施策体系					
基本施策	1	農水産業の振興	根拠法令	旭市補助金等交付規則	
施策の展開	1	農畜産物の生産振興	戦略事業	8	さわやか畜産総合展開事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 平成 16 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ＿ 年度～ 令和 ＿ 年度まで	家畜飼養規模の拡大や畜舎の周辺の住宅化に伴う悪臭、水質汚濁、害虫の発生など畜産環境問題の増加に対処するため、家畜ふん尿の処理設備の整備を促進し、生産される堆肥の資源としての利用を進めることで環境の保全を行い、地域と調和した畜産業の安定した成長を図る。 ・対 象 事 業：農家集団、認定農業者が行う、悪臭防止や水質改善のための堆肥化施設、汚水浄化施設や装置の導入補助 ・補　助　率　：県…1/5、市…1/10　（1事業の上限1,000万円）

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
地域住民の環境への関心が高まり畜産環境に注目が集まり、環境に配慮した畜産経営を推進するために開始した。	処理施設を持たなかった畜産農家の新規の施設整備がほぼ完了し、今後は処理設備の高度化の要望が増えていくことが考えられる。また平成28年度から堆肥散布機を事業で導入することが可能となった。	畜産農家から「堆肥を適切に処理できるようになり、近隣住民から苦情を言われることが大幅に減った」との声がある。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（2年度の決算）　単位：千円

1.負担金補助及び交付金	8,937	さわやか畜産総合展開事業補助金（県・市合算分）

② 特定財源の内訳（2年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金		
2.都道府県支出金	5,958	さわやか畜産総合展開事業補助金（県交付分）
3.地方債		
4.その他		

前年度増減理由	事業費の増加による

		単位	29年度（決算）	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 負担金補助及び交付金	千円	2,760	10,083	4,652	8,937	8,160
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
	事業費計（A）	千円	2,760	10,083	4,652	8,937	8,160
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円	1,840	6,722	3,101	5,958	5,440
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	920	3,361	1,551	2,979	2,720

従事職員数	常時	1 人	最大	3 人	×	30 日	＝	延べ	90 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

2年度実績（2年度に行った主な活動）
- ・補助金の交付
- ・施設、機械の稼働状況調査

	③ 活動指標名	単位	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）
ア	補助金の交付件数	件	1	4	3	1	2
イ							

目的

	② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）
対象	畜産経営で発生するふん尿
意図	公害が発生しない状態となり、適切に処理される
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）
ア	畜産農家が原因の苦情件数	件	14	14	13	12	10
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

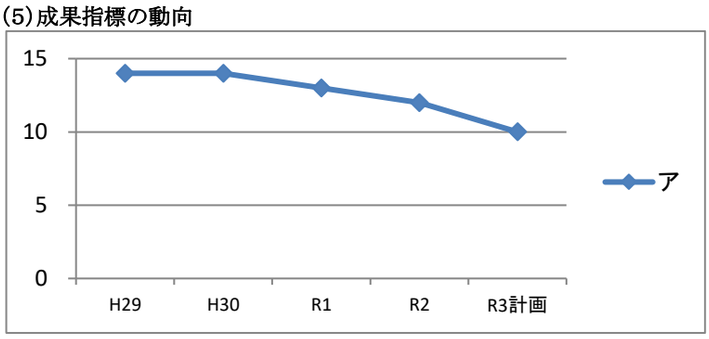
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③	(2)		
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況
☐ 完了　☑ 順調　☐ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】
（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標のタイプ	↘	数値減＝成果向上	☑ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下

【コメント】
（低下の場合、その理由）

成果動向 比較	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3計画
ア	4	0	△1	△1	△2
イ					

③ 今年度取組事項
（3年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
5月 随時	・施設・機械の稼働状況調査 ・補助金の申請受付 ・補助金の交付

今後の方向性
☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し
☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）

随時	例年どおり実施